



## 分科会 9 専門性を兼ね備えた薬剤師をめざす

10月7日(日) 13:30～16:00 第17会場(ホテルクラウンパレス浜松 3F 松の間C)

W-09-02

### 緩和薬物療法認定薬剤師

～在宅医療推進において大きな力を発揮しよう～

ごとう としや  
後藤 敏也

磐田市立総合病院・薬剤部

#### 【緩和薬物療法認定薬剤師の誕生】

薬剤師の職域が広がるにつれて、細分化されたそれぞれの分野に高度に専門化した薬剤師の活躍が期待されています。そして、それに応じた様々な認定資格が誕生しています。緩和薬物療法認定薬剤師はそのうちのひとつであり、主にがん治療における緩和ケアチームに加わり医師や看護師などと連携することを専門的に行う薬剤師になります。

平成19年4月のがん対策基本法施行によりがん医療を巡っては、がんの予防、治療、緩和という3つの柱が明確になり、がんとわかった時点からがんの治療と同時に行う医療として、緩和医療がより明確に位置付けられました。しかし、緩和医療は通常ホスピス・緩和ケア病棟などで行われますが、まだまだその数は充分とはいえません。そのため多くの患者が一般病院や在宅で緩和医療を受けているのが現状であり、緩和医療に携わる者には、その普及活動とともに臨床での患者QOL向上のための役割も増大しています。その中でがん治療や医療用麻薬等の適正使用支援など、緩和薬物療法における薬剤師への期待は益々高まっています。

そのような背景から日本緩和医療薬学会では、平成21年度より、緩和医療に携わる職種の方々の緩和薬物療法に関する知識と技術の向上、ならびにがん医療の均てん化に対応できる人材の育成を目指して、緩和薬物療法に貢献できる知識・技能・態度を有する薬剤師を緩和薬物療法認定薬剤師として認定しています。

#### 【緩和薬物療法認定薬剤師の役割】

緩和薬物療法認定薬剤師の役割は、大きく分けて、(1)がん患者の痛み治療推進・向上への支援、(2)薬・薬・学連携の実践・推進になります。その具体的な任務は

・オピオイド製剤および緩和医療に用いられる薬剤等を中心とする薬剤の情報提供や適正使用のチェックを通じた患者・家族への服薬指導・支援

・医療従事者を対象とした薬物治療上の支援

・緩和医療の普及・啓蒙活動

・病診薬局・保険薬局・薬学の連携推進のための実践およびコーディネート

などになります。

では、私はどのようなことを日々行っているのでしょうか。私は日常業務として外来化学療法室で働いています。業務の中心は化学療法関連であり、いわゆる緩和医療ではありません。なぜそんな私が緩和薬物療法認定薬剤師なのでしょう。支持療法薬が充実してきた現在でも、副作用管理は患者のQOL維持のためには非常に重要です。副作用症状を管理する、症状を緩和する、そういう意味で副作用管理も緩和医療のひとつだと考えています。

#### 【保険薬局薬剤師に開かれた資格】

従来の『専門薬剤師』『認定薬剤師』の制度は病院での薬剤師業務の専門性を重視したものであり、対象は必然的に病院薬剤師に絞られ、実質的に保険薬局薬剤師が認定を受けることは困難なものでした。しかし、日本緩和医療薬学会では末期医療を含めた在宅医療を推進していく上で、在宅患者等に対応する地域の保険薬局薬剤師の役割が重要だとしています。緩和医療への関わりは、入院患者に対応する病院薬剤師だけに限りません。在宅での終末医療を含めた緩和薬物療法の必要性、重要性への認識の高まりを背景に、在宅領域等で活躍する地域の保険薬局薬剤師にとって施設の枠にとらわれない緩和薬物療法認定薬剤師は魅力的であり、やり甲斐を感じるこのことできる資格だと思います。

#### 【認定の現状と今後の課題】

現在の緩和薬物療法認定薬剤師数は2010年に71人、2011年に84人、2012年に80人とトータル255人に達しています。しかし、そのほとんどは病院薬剤師であり、保険薬局薬剤師はまだ少数にとどまっています(6%弱)。保険薬局薬剤師の認定者数がなかなか増えていかない理由は何なのでしょう。申請資格の条件が保険薬局薬剤師にとってハードルの高いものになっていることが考えられますが、具体的にどの項目が達成困難なのでしょう。私が考えるに、患者と直接関わりを持ちにくいこと、申請資格条件の症例報告数不足が要因の一つと思われます。各種学会への参加も、保険薬局薬剤師にとって今まであまり経験してこなかった部分だと思われます。当日のセッションでは資格取得のためにハードルとなっている問題点を浮き彫りにし、その解決策や対応策を一緒に検討できればと考えています。

#### 【最後に】

セッション当日、一人でも多くの保険薬局薬剤師がこの資格に興味を持ち、資格取得に向けた第一歩を踏み出していただければと考えています。